



# Nagkaisa News

No.11

浜松市 UD・男女共同参画提案事業

「夏休み！ 『やさしい日本語』 でグローバルコミュニケーションを楽しもう！」



毎年、小学生の子どもたちから「絵日記の宿題困るー。どこも出かけてないし、書くことないー。書き方もわからないー」と言った声が聞かれていました。そこで7月31日、日本の親子にも参加を呼びかけ、浜松駅から徒歩で行ける「楽器博物館へいっしょに出かけて交流しよう」という企画を実施しました。三部構成の本講座、第一部では社会教育主事の萩元直樹氏から、「今日はお互いに学び合う気持ちを大切に」を合言葉に、住民同士の交流を深めるワーク活動や多言語音声翻訳機の使い方などを教えていただきました。これによって、「ダイバーシティ&インクルージョン」についても理解を深めました。その後、第二部では実際に日比親子が楽器博物館へ行き、楽器の勉強はもとより、「フォトジェニックな交流写真もたくさん撮ってきて」という課題に応えました。第三部では楽器博物館での出来事を絵日記にまとめ、発表し、夏休みの宿題としました。コロナ禍でイベントやお出かけが難しい時代ですが、揃いのTシャツを作り、みんなでお出かけすることができ、良い思い出になりました。

## フィリピンナガイサ事業紹介

2012年にNPO法人に移行して以来、フィリピンナガイサは「共生社会実現」を目的とし、活動しています。教育支援活動を軸とし、外国人生活者の視点に立ち、外国人生活者が日本で生活していく上で必要な支援は何か？ 共生社会の実現のために必要な取り組みは何か？ を掘り下げ、事業を立案し、実施しています。また昨今の外国人材受入に伴い、共生社会実現のための日本人向け講座等も行なっています。

現在は、右図の4事業を柱としています。2021年度の事業・教室活動については下図の通りです。



<定款>

浜松市およびその近郊に暮らす在住フィリピン人に対して生活支援・社会教育活動を通じて日本人住民との相互理解を深めることを促し、**自立・共生社会実現を目指すことを目的**とする。

多文化共生社会実現に向けて、以下の4つの活動を通じて「窓口・居場所・出口」の支援を行う



## NPO FN 2021年度 事業報告

### 日本語教室事業

#### ●バヤニハンクラス

日時：2021年6月～2022年3月 毎週土曜日 13:30～15:30  
場所：南部協働センター  
対象：大人  
内容：生活に必要な日本語

#### ●青年クラス

日時：2021年6月～2022年3月 毎週土曜日 13:30～15:30  
場所：南部協働センター  
対象：青年（16歳～19歳）  
内容：日本で住むために必要な日本語

#### ●浜北教室

日時：2021年6月 毎週土曜日 13:30～15:30  
場所：浜名協働センター  
対象：大人  
内容：生活に必要な日本語

### キャリアアップ支援事業 (FN JOB)

#### ●職業訓練

日時：2022年1月 月～金 10:00～15:30  
場所：アイミティ浜松  
対象：ハローワークで訓練が必要と認められた者  
内容：①ビジネス日本語  
②IT活用 (word, excel, ITリテラシー)  
③就職支援

#### ●人材育成講座

フィリピンナガイサのブログで随時案内中

### 国際交流活動事業

#### ●フィリピン語スピーチコンテスト (HICE グローバルフェア内で実施)

日時：2022年2月13日  
場所：クリエート浜松  
内容：フィリピン語のスピーチを浜松国際交流協会のグローバルフェア内で実施する。

### 子供支援事業

#### ●ハロハロ教室

日時：2021年6月～2022年3月 毎週土曜日 13:30～15:30  
場所：南部協働センター  
対象：学齢期の児童生徒  
内容：①初めての日本語教室（初期適応）  
②寄り添う教室（学習支援）

#### ●駅南教室（事業：浜松国際交流協会）

日時：2021年5月～2022年3月 毎週 月、水、金 13:00～16:30  
場所：南部協働センター  
対象：不就学・不登校児童生徒  
内容：学習支援

#### ●面接作文クラス

日時：2021年10月～2022年3月 毎週土曜日 15:30～17:00  
場所：南部協働センター  
対象：高校進学を希望する者  
内容：面接・作文指導

#### ●進学相談

日時：2021年4月～2022年3月 随時  
場所：南部協働センター  
対象：高校進学を希望する者  
内容：高校進学の相談対応（対応：電話、SNS、メール、訪問など可）

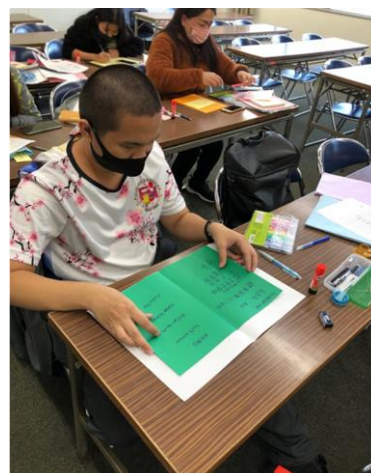
## 2022年度 活動スタート



## 2021年度 活動報告

### バイヤニハン中区クラス (文化庁委託「バイヤニハン教室」)

今年度も「給与明細の見方と年末調整・確定申告」を実施しました(協力:税理士法人黎明祖父江会計事務所)。これまで、税理士の先生作成のオリジナルテキストを使ってきましたが、今年度からはゲスト講師による講話の事前学習教材として、新たに「生活・仕事ガイドブック(監修:出入国在留管理庁)」を追加し、さらに講話後は学習者自身が関連語彙を「ラップブック」にまとめるワークをしました。一つのテーマに対して「事前学習→ゲストによる講話→振り返りワーク」という流れを作り、学びを深めることができました。税金や保険の語彙は漢字が多く難しいのですが、自分の手で語彙リストを作成しながら身近に感じてくれたらと思います。



### バイヤニハン青年クラス (文化庁委託「バイヤニハン教室」)

来日したばかりの16歳~19歳の生徒に対して、日本での生活について学ぶ教室です。各月ごとにテーマを設定し、自分自身で「できること」を増やすことを目的にしています。『公共交通機関を使ってHICEに行く』、『防災センターに行く』のような体験学習も取り入れています。



### 浜北教室

(浜松市・地域日本語教育の総合的な体制づくり推進事業「週末浜北区」コース)

春・秋の2期にわたり、「ひらがな・カタカナ」コースを実施し、フィリピンの方はじめブラジル、中国、ドイツの方がご参加になりました。文字学習のコツを「エクササイズ感覚」でつかめるよう、皆さんと一っしょに勉強しました。日本語の音は「子音+母音の組み合わせで1拍(「ん」は例外)」ということや、拗音は「イ段+小さい「やゆよ」というように、独学でのドリル練習からは知り得なかったことを日本語教師が解説を加えました。その後、HICE「ひらがな・カタカナれんしゅうちょう」や文字カード、スマホのアプリを使って自主学習のサポートをしました。宿題やテストもありましたが、皆さんこのクラスに通うのを励みにしてくださったようです。



### 面接作文クラス

(浜松国際交流協会助成事業『定住フィリピン人青年のための進路支援事業』)

高校進学のために必要となる面接・作文を勉強する教室です。進学相談も実施しました。21年度は7名の生徒が無事高校進学を果たしました。模擬面接試験や模擬作文試験も実施しました。



## ハロハロ教室

(浜松国際交流協会委託『地域日本語学習支援事業』フィリピン人児童・生徒を対象とした就学支援教室開催)

ハロハロ日本語クラスは『初期適応教室』と『学習支援教室』に分けて実施しています。初期適応教室では、バイリンガル講師の先生が来日したばかりの生徒に学校で使われる日本語などを教えています。バイリンガル講師として活躍している先生の中には、ハロハロ教室で育った高校生や大学生もいます。学習支援教室では、日本人のボランティア先生が児童生徒の持ち寄った宿題を見てくれています。21年度はコロナウイルス感染拡大の影響から、オンラインでも教室を実施しました。教室が対面で実施できない時でもオンラインで先生や友達と会うことができ、子供たちはとても喜んでいました。22年度も5/14日からスタートしました。



## 駅南教室

(浜松国際交流協会『浜松市定住外国人子供の就学促進事業』)

不就学の児童生徒や学齢超過の生徒を対象とした教室です。FNは実施団体として関わっています。事業の目的は、「不就学等就学に課題を抱える外国籍の子供の学びの場を確保するとともに、公立学校や外国人学校等教育機関への就学につなげるために必要な支援を行うこと」とされています。就学に向けて準備ができるよう国語、数学、社会、英語などの科目を勉強しました。また、総合学習の時間を設け、社会見学も実施しました。





## 職業訓練

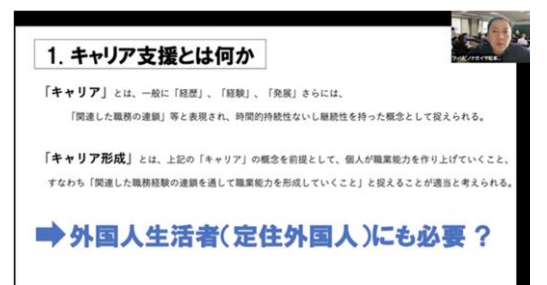
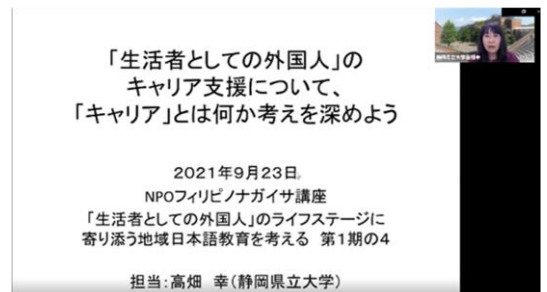
(離転職者委託訓練 (定住外国人向け) 販売サービス科③)

2022年1月27日～4月26日まで「離転職者訓練(定住外国人向け)販売サービス課」を実施しました。訓練では、ビジネス日本語とIT・PCの活用方法、就職活動の方法について学ぶことができます。21年度の修了生は9名でした。FNでは、訓練終了後も就職支援を実施するなど訓練生に向けてのサポートを継続して行っています。

## 人材育成講座 (文化庁委託「日本語教育に関わる人材の養成・研修の実施」)

本シリーズ講座は、全国の日本語教育関係者向けにzoomで実施しています。9月23日は「ニーズ分析」「キャリア支援」をテーマに、二本立てで人材育成講座を実施しました(講師:静岡県立大学国際関係学部、高畑幸教授)。

前半は「人口動態から『生活者としての外国人』のニーズ分析を行い、実践的な活動の連動について考えよう」と題し、主にフィリピン人特有の来日状況や在留資格、労働・婚姻・人口動態などについてお話いただき、レディネス把握への理解を深めました。その後、グループディスカッションでは「どのような日本語教室なら、これまで学べなかった(学びづらかった)人たちが学べるようになるか」を語りあい、地域日本語教室のアイデアを出し合いました。後半は、「『生活者としての外国人』のキャリア支援について考えを深めよう」と題し、当法人代表理事・松本から、「定住外国人にもキャリア支援(リカレント教育)を広げたい」という思いと、職業訓練の現状と課題についてお話ししました。キャリアというと職業キャリアをイメージする方も多いと思いますが、「地域日本語教育の現場では、もう少し広い意味での『ライフキャリア』と捉えるのが良さそうだ」ということを、参加の皆さんと共有しました。全国の地域日本語教育の現場に、こうした考えが根付くことを願っています。



## 国際交流活動

2022年2月13日にHICEグローバルフェアの中で、『第一回フィリピン語スピーチコンテスト』を行いました。人材育成講座の締めくくりとして、フィリピン語でスピーチを発表するという体験をしてもらうために企画しました。

多文化共生社会が目指す「共に社会を上げる」というゴールの疑似体験の一つとして、スピーチ発表者(日本人)とスピーチ作成補助パートナー(フィリピン人)がセットになり、「スピーチを成功させる」ために取り組んでもらいました。

当日はオンラインでコンテストを公開し、多くの方にご覧いただくことができました。参加者からも「日本人とフィリピン人が一つのゴールを目指し、協力して取り組むという経験ができて楽しかった!」との声をいただきました。



## FN 基金設立

21年度から静岡県西部に住むフィリピン人の生活支援を行うことを目的に、FN 基金を設立しました。コロナ感染により生活に困窮している方に1万円分の必要物資（生活用品・食料）を届ける活動を行いました。21年度は8家族に支援を行いました。FN 基金設立にあたり、山口国際ハートクリニックの山口貴司先生と、すずかけセントラル病院の鈴木一也先生から寄付をいただきました。



### <会員募集中>

NPO 法人フィリピンナガイサはたくさんの方々にご支援いただき、在住フィリピン人をはじめとする外国人生活者の方々への支援活動をおこなっています。引き続き、安定した活動・運営を続けていくために、ご賛同・ご支援いただける団体・個人の会員を募集しています。

#### <年会費>

賛助会員 大人: 4,000 円  
賛助会員 子ども: 1,000 円  
賛助会員 団体 一口: 10,000 円

#### <お問い合わせ>

Tel: 080-4308-8380(フィリピン語 中村)  
090-9175-8380(日本語 松本)  
Mail: [filipinonagkaisa@yahoo.co.jp](mailto:filipinonagkaisa@yahoo.co.jp)  
ホームページ: [http:// filipinonagkaisa.org/](http://filipinonagkaisa.org/)



#### フィリピンナガイサ スタッフ

代表理事: 中村 グレイス  
: 松本 義一

理事 : 鈴木 エバ  
半場 和美  
平原 エテル  
吉田 佐織

スタッフ: アバス マリ  
蛭原 真理子  
Calipayan Mori  
高柳 史江  
只尾 ジェニファー  
田中 寛美  
Chew Vincent Dave  
デ ボルバ カタリン リト  
バドゥア キンタロウ  
原田 マリアテレサディゾン  
Blanco Maureen  
山浦 優子

### 編集 後記

コロナウィルスが猛威をふるい始めてから既に2年が経過しました。外国人の新規入国が制限され、浜松市でも外国人総数が減少に転ずるなど影響が出ています。そんな中、2019年4月に新設された新たな在留資格「特定技能」の資格を持つ外国人数は増加の一途をたどり、2022年3月末時点で64,730人(全国)となっています。大半は技能実習から特定技能への資格変更によるものですが、コロナ禍でもじわじわと外国人生活者の定住化が進んでいることがわかります。このような中で、フィリピンナガイサの活動にも少しずつ変化が生じています。定住外国人向けに行なっている教室にブラジル、ペルー、ボリビア、パキスタンといったフィリピン国籍以外の方の参加が見られるようになりました。フィリピンナガイサの団体発足当初は「フィリピン人同士の自助・共助」の団体でしたが、現在では、フィリピン人同士の自助・共助に加え、同じ地域に住む者同士助け合おうとする取り組みも増えています。これらの変化は、多文化共生社会の理念が草の根に浸透し芽吹いてきている表れだと感じます。今後もフィリピン人コミュニティの団体として、多文化共生社会の芽に水を撒けるような取り組みを行なっていきたいと思えます。

### FMHaro 76.1 amizade Hamamatsu (AMIHAMA) 6:00pm~7:00pm

この番組は週ごとにいろいろな国が担当しています。毎月第1日曜日はフィリピンナガイサによるオンエア。フィリピンの文化や歌を日本語とタガログ語で紹介しています。

